

4 笠岡っ子の育成に関する事業

実 施 事 業	一貫教育推進事業（学校教育課・教育総務課）
総 事 業 費	11,762,435 円
ふるさと納税充当額	10,834,001 円

市内1名の小中一貫コーディネーターと5名の小中一貫推進員の配置により、乗り入れ授業をすべての中学校ブロックで実施し、小中の教員がお互いの授業について積極的な意見交流を行うことで、小中の学習指導の一貫性を更に高めました。

また、小中一貫教育推進のためのワーキンググループを組織し、研究成果を教務主任者会で発表したり、小中一貫教育担当者会を開催し、情報交換や講師を招いての研修を行ったりすることで、市全体で小中一貫教育を推進することができました。

7月には、大阪教育大学大学院連合教職実践研究科 教授 木原俊行 氏を講師に招聘し、市内の教職員を対象にした小中一貫教育の研修会を実施し、意欲の向上を図りました。

各中学校ブロックの取組をホームページや市の広報紙などで情報発信を行い、各中学校ブロックの取組を市内全体へ情報提供しました。

学校運営協議会について、委員の研修を行ったり、地域学校協働本部の連携を図ったりすることで、「地域とともにある学校づくり」を更に推進することができました。

実 施 事 業	子ども医療給付事業（市民課）
総 事 業 費	203,373,580 円
ふるさと納税充当額	40,000,000 円

子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、健康の向上と健全な発育に寄与するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図れるよう、子どもの医療費を助成しています。

対象年齢は、通院・入院ともに中学校修了前までとしておりましたが、平成 30 年度からは、入院について高等学校修了前まで対象年齢の拡大を行っています。

実 施 事 業	ＩＣＴ支援員配置事業（学校教育課）
総 事 業 費	54,879,000 円
ふるさと納税充当額	20,000,000 円

笠岡市教育ネットワーク等をさらに活用するために、ＩＣＴ支援員を配置し、月延べ 135 回程度訪問して支援します。その中で、ＩＣＴ機器を使用した授業の支援をはじめ、機器のメンテナンス、各校ＨＰの作成の補助、校務支援システムの講習等、ＩＣＴ支援員によるサポート体制を確立しました。

実 施 事 業	業務アシスタント配置事業（教育総務課）
総 事 業 費	31,003,509 円
ふるさと納税充当額	18,000,000 円

教師（及び教員）業務アシスタントを陸地部の全校に配置しました。

業務アシスタントが、教員の補助業務（授業準備・採点業務の補助・給食業務の補助・学校行事等の準備・資料作成や印刷など）や、校内の美化活動等を行うことにより、教員一人一人が児童生徒と向き合う時間が確保できるとともに、学校現場の教育体制の充実を図ることができました。

また、校庭が広く一人では管理が困難な学校について、業務アシスタントが一堂に会し集中的に作業することにより、校内の環境美化に努めることができました。

【配置校】

（小学校）

中央小，笠岡小，大井小，金浦小，城見小，吉田小，北川小，大島小，新山小，陶山小，神内小，神島外小

（中学校）

笠岡東中，笠岡西中，金浦中，新吉中，大島中，神島外中，小北中

実 施 事 業	外国語指導助手配置事業（学校教育課）
総 事 業 費	46,530,000 円
ふるさと納税充当額	10,000,000 円

英語授業の担任教師を補佐し，生きた英語を親しみやすく児童に伝えるため，外国語指導助手（ALT）を市内の小・中学校に 9 名配置しました。

実 施 事 業	教育活動支援事業（学校教育課）
総 事 業 費	46,483,092 円
ふるさと納税充当額	15,000,000 円

通常学級や特別支援学級において、配慮を要する園児・児童・生徒の支援をおこなうことで担任をサポートするため、小学校１０校に３９名，中学校６校に１０名，幼稚園１園に１名を配置しました。